



Edit メニューの使い方

この章では、Element Manager の Edit メニューで実行できる作業について説明します。内容は次のとおりです。

- [1つのインターフェイスカードのプロパティの表示 \(p.4-2\)](#)
- [同タイプのすべてのインターフェイスカードのプロパティの表示 \(p.4-5\)](#)
- [1つのポートのプロパティの表示 \(p.4-5\)](#)
- [同タイプのすべてのポートのプロパティの表示 \(p.4-9\)](#)
- [インターフェイスカードのプロパティの設定 \(p.4-10\)](#)
- [ポートプロパティの設定 \(p.4-12\)](#)



(注)

Edit メニューを使用すると、ポートおよびカードのプロパティを即座に表示できます。Edit メニューでは、同じタイプのカードまたはポートすべてを選択し、それらの要素のプロパティを表示できます。Element Manager のシャーシ画面を使用して Edit メニューの作業を実行することもできます。シャーシ画面からのサーバスイッチの表示や設定については、「[シャーシ画面の使い方](#)」(p.2-1)を参照してください。

■ 1つのインターフェイスカードのプロパティの表示

1つのインターフェイスカードのプロパティの表示

1つのインターフェイスカードのプロパティを表示するには、次の手順を行います。

ステップ1 プロパティを表示したいカードをクリックします。

ステップ2 Editメニューで **Card Properties** をクリックします。

ウィンドウが開き、カードのプロパティが表示されます。

ステップ3 **Card** タブをクリックします。

表 4-1 に、このタブのフィールドを示します。

表 4-1 インターフェイスカードのフィールド

フィールド	説明
Admin Type (ゲートウェイカードのみ)	管理を目的として設定されたカードタイプ
Card Type	ダイナミックに検出されたカードタイプ
Enable/Disable Card	up および down のオプションボタンによってカードをイネーブルまたはディセーブルにします。
Current Card Status	カードが現在トラフィックを処理できる場合は up、そうでない場合は down が表示されます。

表 4-1 インターフェイスカードのフィールド (続き)

フィールド	説明
Operational State	<p>インターフェイスカードの全般的な状態を示します。全般的な状態として、次のいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> unknown normal wrongBootImage bootFailed tooHot booting <p>unknown 状態は、サポート対象外のインターフェイスカードであることを表します。この状態に対処するには、カードをサポート対象のものに交換します。</p> <p>Current Status が up になっているカードの稼働状態は normal になります。</p> <p>wrongBootImage 状態は、インターフェイスカード上のアクティブなシステムイメージがコントローラ上のアクティブなシステムイメージと一致していないことを表します。正常に機能させるためには、すべてのカードでコントローラカードと同じアクティブシステムイメージが稼働する必要があります。</p> <p>bootFailed 状態は、カードへのアクティブシステムイメージのロードが不完全、または正常でないことを表します。他のインターフェイスカードが正常に起動する場合は、そのカードをリセットします。そうでない場合は、デバイス全体をリポートします。</p> <p>tooHot 状態は、カードが過熱状態であることを示します。Healthメニューから、Status を選択し、Fans タブをクリックして、ファンが故障していないか確認します。</p> <p>booting 状態は、内部設定に必要なイメージデータのそのカードへのロードが不完全であることを示します。</p>
Card Boot Stage	<p>Boot Stage の値は次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> recovery ipl ppcboot fpga pic ib rootfs kernel exe done none

表 4-1 インターフェイスカードのフィールド（続き）

フィールド	説明
Card Boot Status	<p>Boot Status の値は次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • upgrading • success • failed • badVersion • badCrc • memoryError • outOfSpace • programmingError • hardwareError • fileNotFound • inProgress • none
Serial Number	出荷前に割り当てられたカードの製品シリアル番号
PCA Serial Number	カードの Printed Circuit Assembly (PCA) シリアル番号
PCA Assembly Number	カードの PCA アセンブリ番号
FRU Number	カードの Field-Replaceable Unit (FRU) 番号
Product Version ID	カードのバージョン ID
Action	<p>次の操作を表すオプション ボタンが表示されます。Apply をクリックすると実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 何も実行しない • カードをリセット (リブート) する • カードから非アクティブなイメージを削除する
Result	Action フィールドで最後に実行された操作の結果が表示されます。

同タイプのすべてのインターフェイス カードのプロパティの表示

同タイプのすべてのインターフェイス カードのプロパティを表示するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Edit メニューで **Select All** を選択してから、カードのタイプを選択します。

そのタイプのすべてのカードの周囲に、選択されたことを示す黄色の囲みが表示されます。

ステップ 2 Edit メニューから **Card Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、選択されたカードのすべてのプロパティを示すテーブルが表示されます。

1 つのポートのプロパティの表示

ここでは、単一ポートのプロパティの表示方法を説明します。イーサネット ポートの IP アドレスおよびブリッジング プロパティの表示については、次の項を参照してください。

- [イーサネット ポートの IP アドレスの表示 \(p.4-8\)](#)
- [イーサネット ポートのブリッジング プロパティの表示 \(p.4-8\)](#)

1 つのポートのプロパティを表示するには、次の手順を行います。

ステップ 1 プロパティを表示したいポートをクリックします。

ステップ 2 Edit メニューから **Port Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、そのポートのプロパティが表示されます。

- イーサネット ポートの Properties ウィンドウのフィールドは、[表 4-2](#) を参照してください。
- ファイバ チャネル ポートの Properties ウィンドウのフィールドは、[表 4-3](#) を参照してください。
- InfiniBand ポートの Properties ウィンドウのフィールドは、[表 4-4](#) を参照してください。

表 4-2 イーサネット ポートの Properties ウィンドウのフィールド

フィールド	説明
Port Type	スロット番号/ポート番号の表記法でポート番号が表示されます。
Port Name	ポート名。編集したり、そのポートに適用したりできます。
Enable/Disable Port	up および down のオプション ボタンを使用して、ポートの管理上の状態を設定できます。
Current Port Status	ポートが使用可能な状態になっているかどうかを示します。
Auto Negotiation Supported	ポートが自動ネゴシエーションをサポートしている場合は true と表示されます。
Enable Auto Negotiation check box	ポートでの自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルに設定できます。
Set Port Speed	オプション ボタンを使用して、ポートの速度を設定できます。
Current Port Speed	ポートの速度が表示されます。

表 4-2 イーサネット ポートの Properties ウィンドウのフィールド (続き)

フィールド	説明
Set Duplex	オプション ボタンを使用して、ポートのデュプレックスの値を設定できます。
Current Duplex	ポートが全二重と半二重のいずれのモードで稼働しているのかを示します。
Enable Link Up/Down Trap	enabled および disabled のオプション ボタンを使用して、リンクの起動時または停止時にそのポートがトラップを送信するかどうかを設定できます。
MTU	ポートの最大伝送ユニット (maximum transmission unit; MTU) がバイト単位で表示されます。
MAC Address	ポートの Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレスが表示されます。
Last Changed On	ポートをユーザが最後に設定した日時
Action	Apply をクリックすると、ARP テーブルが消去されます。
Result	Action フィールドで実行された操作の結果が表示されます。

表 4-3 ファイバチャネル ポートの Properties ウィンドウのフィールド

フィールド	説明
Port Type	ポート番号 (スロット番号 / ポート番号の表記法)
Port Name	ポート名。編集したり、そのポートに適用したりできます。
Enable/Disable Port	up および down のオプション ボタンを使用して、ポートの管理上の状態を設定できます。
Current Port Status	ポートが使用可能な状態になっているかどうかを示します。
Auto Negotiation Supported	ポートが自動ネゴシエーションをサポートしている場合は true と表示されます。
Enable Auto Negotiation	チェック ボックスを使用して、ポートの自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルに設定できます。
Set Port Speed	オプション ボタンを使用して、ポートの速度を設定できます。
Current Connection Type	ポートと SAN の間のファイバチャネル接続のタイプ
Current Port Speed	ポートの速度が表示されます。
Enable Link Up/Down Trap	enabled および disabled のオプション ボタンを使用して、リンクの起動時または停止時にそのポートがトラップを送信するかどうかを設定できます。
MTU	ポートの最大伝送ユニットがバイト単位で表示されます。
WWNN	ポートの HCA のワールドワイド ノード名
WWPN	ポートのワールドワイド ポート名
FC ID	ポートのネイティブ ファイバ チャネル ID
Last Changed On	ポートをユーザが最後に設定した日時

表 4-4 InfiniBand ポートの Properties ウィンドウのフィールド

フィールド	説明
Port Type	ポート番号 (スロット番号 / ポート番号の表記法)
Port Name	ポート名。編集したり、そのポートに適用したりできます。
Enable/Disable Port	up および down のオプション ボタンを使用して、そのポートの管理上の状態を設定できます。
Current Port Status	ポートが使用可能な状態になっているかどうかを示します。
Physical State	ポートへの物理接続の状態
Auto Negotiation Supported	ポートが自動ネゴシエーションをサポートしている場合は true と表示されます。
Enable Auto Negotiation	チェック ボックスを使用して、ポートの自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルに設定できます。
Set Port Speed	ドロップダウンメニューを使用して、リンク幅 (1x、4x、または 12x) に関するポートのリンク容量およびレーン速度 (SDR または DDR) を設定できます。有効な値は、1x-SDR (2.5 Gbps)、4x-SDR (10 Gbps)、12x-SDR (30 Gbps)、1x-DDR (5 Gbps)、4x-DDR (20 Gbps)、12x-DDR (60 Gbps) です。
Current Port Speed	ポートのリンク容量が表示されます。
Power Connector Dongle Type	電源コネクタの dongle タイプが表示されます。このフィールドが表示されるのは、その InfiniBand ポートが電源コネクタをサポートしている場合だけです。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • none (1) • ib4xFX (2)
Power Connector Dongle State	通電されているインターフェイス コネクタに接続されている dongle の電源制御状態を示します。値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • noStateChange (0) • on (1) • off (2)
Clear Counters	チェック ボックスを使用して、InfiniBand ポートのカウンタをクリアできます。
Enable Link Up/Down Trap	enabled および disabled のオプション ボタンを使用して、リンクの起動時または停止時にそのポートがトラップを送信するかどうかを設定できます。
MTU field	ポートの最大伝送ユニット (バイト)
Last Changed On field	ポートをユーザが最後に設定した日時

イーサネット ポートの IP アドレスの表示

イーサネット ポートの IP アドレスを表示するには、次の手順を行います。

ステップ 1 IP アドレスを表示したいイーサネット ポートをクリックします。

ステップ 2 Edit メニューから **Port Properties** をクリックします。

ウィンドウが開き、そのポートのプロパティが表示されます。

ステップ 3 **IP Addresses** タブをクリックします。

IP Addresses タブが表示されます。表 4-5 に、このタブのフィールドを示します。

表 4-5 IP Address 画面のフィールド

フィールド	説明
Port	ポート番号 (カード番号 / ポート番号の形式)。ポート番号 0 は、そのインターフェイス カードの内部ゲートウェイ ポートを表します。
Address	ポートに指定されている IP アドレス
Netmask	ポートに指定されているサブネット マスク
BcastAddrFormat	ポートが使用する IP ブロードキャスト アドレスの形式
ReasmMaxSize	ポートが受信し、着信フラグメント IP データグラムから再構成する IP データグラムの最大サイズ
Type	primary または backup が表示されます。インターフェイス カードが Address フィールドに表示される IP アドレスのプライマリ インターフェイスとバックアップ インターフェイスのどちらとして機能するのかを示します。
Status	active または inactive が表示されます。カードが Address フィールドの IP アドレスを宛先とした IP パケットをアクティブに処理するのか、あるいはそのアドレスへのパケットを処理しないのかを示します。

イーサネット ポートのブリッジング プロパティの表示

イーサネット ポートのブリッジング プロパティを表示するには、次の手順を行います。

ステップ 1 ブリッジング プロパティを表示したいイーサネット ポートをクリックします。

ステップ 2 Edit メニューから **Port Properties** をクリックします。

ウィンドウが開き、そのポートのプロパティが表示されます。

ステップ 3 **Bridging** タブをクリックします。

Bridging タブが表示されます。このタブのフィールドについては、表 4-6 を参照してください。

表 4-6 Bridging 画面のフィールド

フィールド	説明
Port	ポート番号 (スロット番号 / ポート番号の形式)
IEEE VLAN Tag	ブリッジグループの VLAN
Bridge Group ID	そのポートが属しているブリッジグループ。Ethernet メニューからブリッジグループを指定するには、 Bridging を選択します。

同タイプのすべてのポートのプロパティの表示

同タイプのすべてのポートのプロパティを表示するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Edit メニューで **Select All** を選択してから、ポートのタイプを選択します。

そのタイプのすべてのポートの周囲に、選択されたことを示す黄色の枠が表示されます。

ステップ 2 Edit メニューから **Port Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、選択されたポートのすべてのプロパティを示すテーブルが表示されます。

インターフェイス カードのプロパティの設定

インターフェイス カードのプロパティは、Edit メニューまたはシャーシ画面で設定できます。シャーシ画面での手順については、第2章「シャーシ画面の使い方」を参照してください。ここでは、Edit メニューでのカードプロパティの設定方法を説明します。

- 管理上のカードタイプの設定 (p.4-10)
- カードのイネーブル化またはディセーブル化 (p.4-11)

管理上のカードタイプの設定

特定のインターフェイス カード用にスロットを予約するためには管理上のカードタイプを設定する必要があります。管理上のカードタイプは次のいずれかの方法で設定できます。

- 単一インターフェイス カードの管理上のカードタイプの設定 (p.4-10)
- 複数のカードの管理上のカードタイプの設定 (p.4-10)

単一インターフェイス カードの管理上のカードタイプの設定

1つのインターフェイス カードのカードタイプを設定するには、次の手順を行います。

ステップ 1 設定したいカードのタイプをクリックします。

ステップ 2 Edit メニューから **Card Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、カードのプロパティが表示されます。

ステップ 3 AdminType フィールドで該当するオプションボタンをクリックし、**Apply**をクリックしてから **Close** をクリックします。

複数のカードの管理上のカードタイプの設定

複数のインターフェイス カードのカードタイプを設定するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Edit メニューで **Select All** を選択してから、カードのタイプを選択します。

そのタイプのすべてのカードの周囲に、選択されたことを示す黄色の囲みが表示されます。

ステップ 2 Edit メニューから **Card Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、選択されたカードのすべてのプロパティを示すテーブルが表示されます。

ステップ 3 AdminType カラムで、設定したいカードのタイプをクリックします。

ドロップダウンメニューが表示されます。ドロップダウンメニューから値を選択します。設定したいその他カードに対しても、この手順を行います。

カードのイネーブル化またはディセーブル化

次のいずれかの手順を使用して、カードをイネーブルまたはディセーブルに設定できます。

- 単一カード画面からのカードのイネーブル化またはディセーブル化 (p.4-11)
- 複数のカードのイネーブル化またはディセーブル化 (p.4-11)

単一カード画面からのカードのイネーブル化またはディセーブル化

単一カード画面からカードをイネーブルまたはディセーブルにするには、次の手順を行います。

ステップ 1 イネーブルまたはディセーブルに設定したいカードをクリックします。

ステップ 2 Edit メニューから **Card Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、カードのプロパティが表示されます。

ステップ 3 **up** または **down** のオプション ボタンをクリックし、**Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。

複数のカードのイネーブル化またはディセーブル化

複数カード画面からカードをイネーブルまたはディセーブルにするには、次の手順を行います。

ステップ 1 Edit メニューで **Select All** を選択してから、カードのタイプを選択します。

そのタイプのすべてのカードの周囲に、選択されたことを示す黄色の囲みが表示されます。

ステップ 2 Edit メニューから **Card Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、選択されたカードのすべてのプロパティを示すテーブルが表示されます。

ステップ 3 Enable/Disable Card カラムで、イネーブルまたはディセーブルに設定したいカードの状態をクリックします。

ドロップダウン メニューが表示されます。

ステップ 4 **up** または **down** を選択します。イネーブルまたはディセーブルに設定するその他の各カードに対して、この手順を行います。

ポートプロパティの設定

Editメニューを使用してポートのプロパティを設定することも、また直接シャーシ画面を使用することもできます。シャーシ画面からのポートプロパティの設定については、「[シャーシ画面の使い方](#)」(p.2-1)を参照してください。ここでは、Editメニューでのポートプロパティの設定方法を説明します。

- [ポート名の設定](#) (p.4-12)
- [ポートのイネーブル化またはディセーブル化](#) (p.4-13)
- [自動ネゴシエーションのイネーブル化またはディセーブル化](#) (p.4-14)
- [ポート速度の設定](#) (p.4-15)
- [InfiniBandポートのカウンタのクリア](#) (p.4-16)
- [Link Up/Downトラップのイネーブル化またはディセーブル化](#) (p.4-17)
- [ポートで実行する動作](#) (p.4-18)

ポート名の設定

ここでは、単一ポート画面または複数ポート画面でのポート名の変更作業について説明します。

- [単一ポートの名前の設定](#) (p.4-12)
- [複数のポート名の設定](#) (p.4-12)

単一ポートの名前の設定

1つのポートの名前を設定するには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** 名前を変更したいポートをクリックします。
 - ステップ 2** Editメニューから **Port Properties** を選択します。
ウィンドウが開き、ポートの詳細情報が表示されます。
 - ステップ 3** Port Name フィールドで名前を編集し、**Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-

複数のポート名の設定

複数のポートの名前を設定するには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** Editメニューで **Select All** を選択してから、名前を設定したいポートのタイプをクリックします。
 - ステップ 2** Editメニューから **Port Properties** を選択します。
ウィンドウが開き、ポートのプロパティが表形式で表示されます。
 - ステップ 3** Port Name カラムで、名前を変更したいポートのテキストをダブルクリックして、名前を編集します。名前を変更するすべてのポートに対して、この手順を行います。

ステップ4 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。

ポートのイネーブル化またはディセーブル化

ここでは、単一ポート画面または複数ポート画面からポートをイネーブルまたはディセーブルにする方法を説明します。

- [単一ポートのイネーブル化またはディセーブル化 \(p.4-13\)](#)
- [複数のポートのイネーブル化またはディセーブル化 \(p.4-13\)](#)

単一ポートのイネーブル化またはディセーブル化

単一ポートをイネーブルまたはディセーブルにするには、次の手順を行います。

ステップ1 イネーブルまたはディセーブルに設定したいポートをクリックします。

ステップ2 Edit メニューから **Port Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、ポートの詳細情報が表示されます。

ステップ3 Enable/Disable Port フィールドで、**up** または **down** のオプション ボタンをクリックします。

ステップ4 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。

複数のポートのイネーブル化またはディセーブル化

複数のポートをイネーブルまたはディセーブルにするには、次の手順を行います。

ステップ1 Edit メニューで **Select All** を選択してから、イネーブルまたはディセーブルに設定したいポートのタイプをクリックします。

ステップ2 Edit メニューから **Port Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、ポートのプロパティが表形式で表示されます。

ステップ3 Enable/Disable Port カラムで、イネーブルまたはディセーブルに設定したいポートのセルをクリックし、表示されたドロップダウンメニューで **up** または **down** を選択します。

ステップ4 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。

自動ネゴシエーションのイネーブル化またはディセーブル化

ここでは、単一ポート画面または複数ポート画面からポートの自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルにする方法を説明します。

- 単一ポートの自動ネゴシエーションのイネーブル化またはディセーブル化 (p.4-14)
- 複数ポートの自動ネゴシエーションのイネーブル化またはディセーブル化 (p.4-14)

単一ポートの自動ネゴシエーションのイネーブル化またはディセーブル化

単一ポート画面からポートの自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルにするには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** 自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルに設定したいポートをクリックします。
 - ステップ 2** Edit メニューから **Port Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、ポートの詳細情報が表示されます。
 - ステップ 3** **Enable Auto-Negotiation** チェック ボックスをオンにするか、またはオフにします。
 - ステップ 4** **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-

複数ポートの自動ネゴシエーションのイネーブル化またはディセーブル化

複数ポート画面からポートの自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルにするには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** Edit メニューで **Select All** を選択してから、自動ネゴシエーションをイネーブルまたはディセーブルに設定したいポートのタイプをクリックします。
 - ステップ 2** Edit メニューから **Port Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、ポートのプロパティが表形式で表示されます。
 - ステップ 3** **Enable Auto-Negotiation** カラムで、設定したいポートのセルをクリックし、表示されたドロップダウンメニューで **true** または **false** を選択します。
 - ステップ 4** **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-

ポート速度の設定

ここでは、単一ポート画面または複数ポート画面からポート速度を設定する方法を説明します。

- 単一ポートのポート速度の設定 (p.4-15)
- 複数ポートのポート速度の設定 (p.4-15)



(注)

ポートの速度を指定する前に、ポートで自動ネゴシエーションをディセーブルにする必要があります。

SDR ケーブルまたは 8 フィートより長いケーブルで接続された InfiniBand ポートでは、SDR のみをサポートするよう手動でポートを設定する必要があります。

単一ポートのポート速度の設定

1 つのポートのポート速度を設定するには、次の手順を行います。

ステップ 1 速度を設定したいポートをクリックします。

ステップ 2 Edit メニューから **Port Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、ポートの詳細情報が表示されます。

ステップ 3 イーサネットまたはファイバチャネルポートの場合は、**Set Port Speed** エリアで、適用したい速度に対応したオプション ボタンをクリックします。InfiniBand ポートの場合は、**Set Port Speed** エリアのドロップダウンメニューから、適用したい速度を選択します。

ステップ 4 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。

複数ポートのポート速度の設定

複数のポートの速度を一度に設定するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Edit メニューから **Select All** を選択し、速度を設定したいポートのタイプをクリックします。

ステップ 2 Edit メニューから **Port Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、ポートのプロパティが表形式で表示されます。

ステップ 3 **Set Port Speed** カラムで、設定したいポートのセルをクリックし、表示されたドロップダウンメニューから、適用したい速度を選択します。

設定したいポートすべてに対して、この手順を行います。

ステップ 4 **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。

InfiniBand ポートのカウンタのクリア

ここでは、単一ポート画面または複数ポート画面から InfiniBand ポートのカウンタをクリアする方法を説明します。

- 単一の InfiniBand ポートのカウンタのクリア (p.4-16)
- 複数の InfiniBand ポートのカウンタのクリア (p.4-16)

この手順でリセットされるカウンタについては、表 7-1 (p.7-2) を参照してください。

単一の InfiniBand ポートのカウンタのクリア

単一ポート画面から、InfiniBand ポートのカウンタをクリアするには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** カウンタをクリアしたいポートをクリックします。
- ステップ 2** Edit メニューから **Port Properties** を選択します。
- ウィンドウが開き、ポートの詳細情報が表示されます。
- ステップ 3** **Clear Counters** チェック ボックスをオンにします。
- ステップ 4** **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-

複数の InfiniBand ポートのカウンタのクリア

複数の InfiniBand ポートのカウンタを一度にクリアするには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** Edit メニューで **Select All** を選択してから、カウンタをクリアしたいポートのタイプをクリックします。
- ステップ 2** Edit メニューから **Port Properties** を選択します。
- ウィンドウが開き、ポートのプロパティが表形式で表示されます。
- ステップ 3** **Clear Counters** カラムで、設定したいポートのセルをクリックし、表示されたドロップダウンメニューで **true** を選択します。
- 設定したいポートすべてに対して、この手順を行います。
- ステップ 4** **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-

Link Up/Down トラップのイネーブル化またはディセーブル化

ここでは、単一ポート画面または複数ポート画面から Link Up および Link Down のトラップをイネーブルまたはディセーブルにする方法を説明します。

- [単一ポートの Link Up/Down トラップのイネーブル化またはディセーブル化 \(p.4-17\)](#)
- [複数ポートの Link Up/Down トラップのイネーブル化またはディセーブル化 \(p.4-17\)](#)

単一ポートの Link Up/Down トラップのイネーブル化またはディセーブル化

単一ポートの Link Up/Down トラップをイネーブルまたはディセーブルにするには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** 設定したいポートをクリックします。
 - ステップ 2** Edit メニューから **Port Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、ポートの詳細情報が表示されます。
 - ステップ 3** Enable Link Up/Down Trap フィールドで、**enabled** または **disabled** のオプション ボタンをクリックします。
 - ステップ 4** **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-

複数ポートの Link Up/Down トラップのイネーブル化またはディセーブル化

複数ポートの Link Up/Down トラップをイネーブルまたはディセーブルにするには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** Edit メニューで **Select All** を選択してから、設定したいポートのタイプをクリックします。
 - ステップ 2** Edit メニューから **Port Properties** を選択します。

ウィンドウが開き、ポートのプロパティが表形式で表示されます。
 - ステップ 3** **Enable Link Up/Down Trap** カラムで、設定したいポートのセルをクリックし、表示されたドロップダウンメニューで **enabled** または **disabled** を選択します。

設定したいポートすべてに対して、この手順を行います。
 - ステップ 4** **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-

ポートで実行する動作

一部のポートタイプで、特別な動作を実行できます。ここでは、単一または複数のポート画面から動作を実行する方法を説明します。

- [単一ポートで実行する動作 \(p.4-18\)](#)
- [複数ポートで実行する動作 \(p.4-18\)](#)

単一ポートで実行する動作

1つのポートで動作を実行するには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** 動作を実行したいポートをクリックします。
- ステップ 2** Editメニューから **Port Properties** を選択します。
- ウィンドウが開き、ポートの詳細情報が表示されます。
- ステップ 3** **Action** フィールドで、実行したい動作のオプション ボタンをクリックします。
- ステップ 4** **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-

複数ポートで実行する動作

複数のポートで動作を実行するには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** Editメニューから **Select All** を選択し、動作を実行したいポートのタイプをクリックします。
- ステップ 2** Editメニューから **Port Properties** を選択します。
- ウィンドウが開き、ポートのプロパティが表形式で表示されます。
- ステップ 3** **Action** カラムで、動作を実行したいポートのセルをクリックし、表示されたドロップダウンメニューから動作を選択します。
- 動作を実行するすべてのポートに対して、この手順を行います。
- ステップ 4** **Apply** をクリックしてから、**Close** をクリックします。
-